

# 創立104周年 式典



東京千代田区富士見  
日本歯科大学新聞会  
発行兼 中原 泉  
編集人 偶数月末日  
発行日 1部10円  
定価 編集室 (〒951-8580)  
新潟市中央区浜浦町1-8  
☎ 025 (267) 1500



プリティシユコロンピア大学校章

## 二百余名が参列

大学の創立一〇四周年記念式典は、六月一日の創立記念日に東京富士見において挙行された。姉妹校であるカナダ・プリティシユコロンピア大学のD・M・ブルーネット教授への本学名誉博士号授与式もあわせて行われた。

日本歯科大学創立一〇四周年記念式典は、六月一日、来賓、教職員、卒業生、学生等三百余名が参列して、生命歯学部富士見ホールにおいて挙式された。定刻前十時三十分、鈴木洋一庶務部長が開式を宣し、筑土神社祭司が神事を執り行った。祝詞の中で本学の沿革が明々と奏上されたのち、



日本歯科大学創立104周年記念式典

## 創立記念式典で挨拶する中原理事長・学長

「ピーク時に二百五十万人だった十八歳人口が現在百二十万まで減少した。それは十年前から分かっていて、私は学内で警鐘を乱打したつもりだ。本学では二〇〇〇年から東京を中心とした再整備計画に着手し、教育・研究・診療環境の整備を行った。五年かかって、今年さらには大波が寄せ、入学定員割れが十一校、充足されたのはわずか六校となり二極化が顕著になった。歯学部が潰れないというのは、神話にすぎない。日本歯科大学は昨年大波が来た時点で、考える対策を東京、新潟でそれぞれ立てて現在実行している。あと五年間くらいは、こういう大波がどんどん寄せてきて二極化がさらに広がるのか、あるいは状況が変わるのか、先行きを見透して、すぐに対応しなければならぬと思う。大変厳しい状況なので、サーフィンのよ



名誉博士の学位記を受けるブルーネット教授

うに鮮やかにはいかないが、この四、五年を乗り越えれば、日本歯科大学は安泰だろうと信じている」と述べた。

光安一夫校友会会長は、「今年の入学生は全体で約四十パーセントが女性だった。将来的に女性の組織率をいかにあげていくかが、校友会の課題となる。彼女らがこれから卒業して歯科医療に携わっていくときに、何が障害となつて校友会と縁が切れてしまうのか、を把握しないと組織率が次第に低下していく。校友会では女性の卒業生に対して生活環境を調査したが、女性の先生方にも参画してもらって、将来のための検討会を立ち上げたので、ご協力を願いたい」と述べた。

記念式典から名誉博士号授与式に移り、中原学長は、「D・M・ブルーネット教授は、名著『クリティカルシンキング―EBMに基づく思考法』の著者であり、同書はUBCで臨床教授を務められた親友の八重垣教授がクインテッセンスから昨年翻訳を出版した。昨年度に第十三号の名誉博士号を授与する予定だったが、新型インフルエンザのために本年に延期となった」と述べ、名誉博士号の学位記が同教授に授与された。

表彰者を代表して下村浩巳教授(新潟生命歯学部生化学講座)が「この三十年、二十年の間の科学の変化は大変激しいものがある。ITの発展により世界的な情報が瞬時のうちに分かる時代になり、世界的な文献が自分の席でも読めるようになった。私が専門とする分子生命化学の分野では遺伝子解析が進み、遺伝子のテクニクはiPS細胞の誕生をみている。私たちも激しい変化の中で取り残されないように努め、楽しく過ごさせていたたい。それは、大学が相当の設備を適宜完備してくれたからだ」と謝辞を述べた。

小松先生(秋田) 医療功労賞受賞 秋田県由利本荘市の小松義典先生(第六十四回卒)は、このたび医療功労賞を受賞した。

読売新聞社主催、厚生労働省後援の同賞は、困難な医療環境にあつて、地域の医療向上に寄与した医療従事者などに贈られるもので、今回で三十八回目となる。小松先生の永年にわたる地域における歯科医療活動が認められ、今回の

下岡教授(新潟)最終記念講義 本学新潟生命歯学部小児歯科学講座の下岡正八教授の最終記念講義が、七月五日午後五時からアイヴィホールで開催された。演題は「人間は知覚の前提を何に置いているか?」で、多くの教職員、大学院生、学生、同門会等の関係者が聴講した。下岡教授は昭和四十年本学卒業(第五十四回卒)、大学院修了後、五十二年六月より新潟歯学部小児歯科学講座教授として同講座を主宰した。昭和六十二年には、「心身障害児歯科診療に関する教育実践とトレーニングシステムの確立」の業績により、附属病院障害児センターを代表して新潟日報文化賞を受賞した。平成二十年に日本歯科医学会長賞受賞。新潟歯学部



花束を手に教室員に囲まれる下岡教授

附属病院長や日本小児歯科学会理事長などを歴任し、平成二十年八月から新潟短期大学学長を務める。

## 下岡教授(新潟)最終記念講義

受賞となり、三月十五日に東京・帝国ホテルで授賞式が行われた。

松野准教授グループ 抗加齢医学会2年連続受賞

六月に京都国際会議場で開催された第十回日本抗加齢医学会総会において、生命歯学部口腔外科学講座の松野智准教授を中心とした研究グループが、加齢に伴う口腔乾燥と酸化ストレスに関する演題で優秀演題賞を受賞した。これは昨年の研究奨励賞に続き二年連続となる。

同学会は抗加齢医学の理論と実践を目的とした学際的な学会で、六千三百人以上の会員を有し、歯科医師は内科医につく会員数で、二百以上の一般口演の中から優秀演題に選出されたのは二十四題で、歯科から受賞したのは松野准教授らの発表のみであった。

# 大学院創立50年を迎えて

大学院生命歯学研究科長 佐藤 田鶴子 (生命歯学部口腔外科学講座教授)

日本歯科大学大学院は昭和三十五年(一九六〇)に開設し、本年度創立五十周年を迎えた。東京・新潟の両研究科を代表して、佐藤大学院生命歯学研究科長が六月一日の創立記念式典で謝辞を述べた。

若葉も美しい六月一日の今日、本学創立一〇四周年を祝うためにこの会場にお集まりいただいた皆様、本学大学院開講五十周年の祝辞を、大学院研究科を代表して述べて下さり、誠にありがとうございます。さて、今年、日本歯科大学大学院は創立五十周年という記念すべき時を迎えることになった。振り返ると、まさに半世紀、一九六〇年四月一日に、ここ富士見の地に日本歯科大学大学院が開設され、次いで、三十年後の一九九〇年には、新潟歯学部が増設された。このように、本年は記念すべき年なので、本学では三十周年次に発行したと同じように『開設五十周年記念誌』の発刊準備にとりかかっている。



佐藤研究科長「心をこめて、これからの歯科医療に役立つ珠玉を磨いていきたい…」

うことは、本学のまさに貴重な基礎・臨床研究が連綿と続けられ、かつまた将来へと繋ぐ多くの新たな研究が行われていることを意味している。ここに、本大学院に係わられた先人のご努力に対し、深甚なる感謝を申し上げる。大学としては、

優秀な歯科学生の養成はいうまでもないが、大学院は優れた研究の場ではないかならない。

- ☆三十年勤続表彰 (生命歯学部)
- 山口晃 (口腔外科)
  - 横山涼子 (看護科)
  - 三富純子 (衛生科)
  - ☆二十年勤続表彰 (生命歯学部)
  - 志賀博 (補綴学)
  - 武田守 (生理学)
  - (附属病院)
  - 菊谷武 (総合診療科)
  - 北村和夫 (総合診療科)
  - 内川喜盛 (小児歯科)
  - 須藤ツヤ子 (看護科)
  - 奥美和子 (衛生士室)
  - (東京短期大学)
  - 斉藤勝紀 (技工学)
  - 鈴木恵 (衛生学)
  - (新潟生命歯学部)
  - 葛城啓彰 (微生物学)
  - 吉田満 (矯正学)



30年・20年表彰を受ける永年勤続者 (6月1日・生命歯学部富士見ホール)

創設以来の変革を行い、大学院での研究の基礎に必要な「医療法規」や「臨床遺伝学」などを始め、幾つかの副科目を選び、研究の領域を学際分野に広げていることは、すでに皆様ご承知のことかと思う。一方、生命歯学研究科では、来年度から、附属病院での臨床研究を活かし、歯科臨床系専攻では、専門医・認定医コースに進むことのできる審美歯科を含めた奈良陽一郎教授の下での「歯科硬組織修復学」と、摂食・嚥下・リハビリテーションを中心とした菊谷武教授の下での「臨床口腔機能学」の二専攻科を新設し、また、歯科基礎系専攻にも新たに中原貴教授の下での「発生・再生医学」の一専攻科を増設することにより、大学院活動の一層の活性化を図ることになった。

- 客員教授を委嘱する (歯科補綴学第2講座)
- 工学博士 小林 宣男
  - 工学博士 伊藤 敦夫
  - 薬学博士 大野 忠夫
  - 工学博士 鈴木 哲朗
  - 工学博士 田畑 泰彦
  - 工学博士 中村 達雄
  - 医学博士 中村 達雄
  - 客員教授を委嘱する (口腔外科学講座)
  - 医学博士 熊木 克治
  - 客員教授を委嘱する (解剖学第1講座)
  - Dr. Andreas H. Valentin

- 客員教授を委嘱する (歯科補綴学第2講座)
- Dr. Kar-Liwing Ackerman
  - 客員教授を委嘱する (歯科補綴学第2講座)
  - 歯学博士 西巻 明彦
  - 客員教授を委嘱する (医療コミュニケーション)
  - Dr. 山内 淳一
  - 客員講師を委嘱する (歯科保存学第2講座)
  - 平成二十二年四月一日

- 准教授 岡田 康男
- 教授に任命する (新潟生命歯学部病理学講座)
- 略歴・昭和58年3月富山大学工学部機械工学科卒業、平成2年3月本学卒業(第79回卒)、6年3月大学院新潟歯学研究科修了。7年8月口腔外科学第二講座助手、14年講師を経て17年4月助教に就任。18年4月病理学講座に配置換。
- 講師 東理 頼亮
- 助教 大窪 泰弘
- 新潟病院臨床検査室併任を命ずる(新潟生命歯学部病理学講座)
- 平成二十二年六月一日

## 西村正美先生(78回)当選 参院選 比例区



本学第七十八回卒業の西村正美先生(東京・中野区)は、七月十一日実施された第二十二回参議院議員通常選挙において、十万票を超えて得票数で初当選した。

西村先生は昭和三十八年生まれの四十六歳。日本歯科大学歯学部を平成元年に卒業し、同八年、東京都中野区にまさみデンタルクリニックを開業。中野区歯科医師会理事、東京都国保審査委員などを務め、日本歯科医師連盟の支援を得て、民主党から立候補していた。

さらに、大学院生の初年度教育の面でも大学院

- 客員講師を委嘱する(新潟生命歯学部歯科理工学講座・歯周病学講座)
- 平成二十二年三月十日
  - (生命歯学部)
  - 医学博士 佐藤 喜宣
  - 客員教授を委嘱する(歯科法医学センター)
  - 歯学博士 北村 中也
  - Pr. D.M. Brunette
  - 客員教授を委嘱する(衛生学講座)
  - 医学博士 上田 実
  - 歯学博士 花田 信弘
  - 客員教授を委嘱する(歯周病学講座)

**+MORE HAMAURA FESTIVAL 2010**

浜浦祭

会場: 日本歯科大学新潟生命歯学部

- 模擬店
- 各部展示
- スタンプラリー
- イベント
- 無料歯科相談
- オープンキャンパス
- 特別公開講座

**HAMAURA FESTIVAL 2010**

NIPPON DENTAL UNIVERSITY